

# ロボコンジャパンカップ 2026 ダブルス大会

## ルール

2026 年 9 月 9 日版

### 1. ロボットについて

|       |                                                                                                              |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本体サイズ | タテ 39.4cm x ヨコ 39.4cm x 高さ 40.0cm 以内<br>( <u>バケット部を含む最長の長さをこの範囲内とする。</u> )<br>( <u>バケット可動時も同様この範囲内とする。</u> ) |
| 足回り   | キャタピラ仕様のみ。(キット付属車輪のみ使用すること)                                                                                  |
| モーター  | 〔FA-130〕のみ使用可能とする。(キット付属のモーターのみ)<br>改造されたモーターの使用は認めない。搭載する数に制限は無し。                                           |
| 電池    | 使用できるのは <u>単二もしくは単三電池 2 本</u> に限る。<br>改造などして上記電池以外の電池を使用する事は認めない。                                            |
| バケット  | <u>ワンピースギアボックス（付属品）による駆動を条件とします。</u>                                                                         |

※ 車検は、バケット部及び付随するパーツを最長に伸ばした状態で行います。

※9/10、ホームページと LINE にて「ダブルス大会参加チーム」および「ダブルスコースレイアウト」をご通知致します！

### 2. ルールについて

- ダブルス大会は **2 人 1 組のチーム**で対戦します。A コース・B コースの 2 コースを使用して競技を行います。
- 1 試合 3 分間。各陣地に 2 種類の玉を配置し、2 人で協力して相手フィールドに送り入れる対戦形式となります。
- 各チーム 2 台のロボットは、2 か所のスタート場所（中央の黒い坂と自陣の角にある黒い板）からそれぞれスタートします。バケットがスタート位置のラインを越えない状態で待機し、審判の合図で競技を開始します。※**コース図参照**
- 使用する玉は 2 種類です。各陣地に、ガチャ玉（中にスーパーボール入り）10 個とピンポン玉 15 個の、**計 25 個**を配置します。
- 玉は 2 種類とも 1 個 1 点。試合終了時、自陣に残った玉の合計点数が少ない方を勝ちとします。
- 指定場所から玉を拾い上げ、中央の黒い坂を上り、パイプのスロープを使って相手陣地へ送り込みます。

★ **相手陣地へ玉を送り入れられるのは「黒い坂 → パイプのスロープ」からのみです。壁（パネル）を越えて直接入れることは禁止します。**

- 自陣側からスロープを逆方向（下から上）に使って、相手陣地へ玉を送り入れることは禁止します。
- パイプのスロープ上をバケットや車体で塞ぎ、相手から送られてきた玉が自陣へ入るのを妨げる行為は禁止します。
- 3分間の競技終了時、審判がパイプのスロープ中央（両陣地の境界）に仕切りを入れます。終了時にスロープ上にある玉で、仕切りより自陣側にあるものは自陣の玉としてカウントし、相手陣地側にあるものはカウントしません。
- 大会の対戦方式・勝ち上がり方法は、当日のダブルス大会組み合わせ・出走表に従います。

### ※引き分けとなった場合

- トーナメント戦で引き分けとなった場合は、2分間の再試合を行い、勝敗が決まるまで繰り返します。

## 3.リトライについて

### (1). リトライの条件

- ロボットが故障した場合
- 競技者が「リトライ」を宣言し、審判が認めた場合
- その他、審判がリトライと判断した場合（例：ロボットが横転したり、キャタピラが外れたりして走行不能になった場合）

### (2). リトライの手順

- ①選手が手を上げ「リトライ」と宣言する  
↓
  - ②審判がリトライを認める  
↓
  - ③コース脇で修理を行う  
↓
  - ④リトライするロボットを、自陣の角にある黒い板の「リトライゾーン」に戻す  
↓
  - ⑤審判の「スタート」のコールで再スタートする。
- (※どちらのロボットも共通)

### (3). 再スタートの位置・・・※コース図参照

- リトライするロボットを、自陣の角にある黒い板の「リトライゾーン」に戻し、審判の「スタート」の合図で再スタートします。
- 2台ともリトライする場合は、自陣の角にある「リトライゾーン」から1台ずつ順番に再スタートします。

## 4.メンテナンス（修理）について

- ・競技中の修理は必ずコース脇で行って下さい。(キャタピラ外れを直す場合も、コース上では修理しないでください。)
- ・修理中も競技時間は経過します。(修理後は再スタートとなります。)
- ・修理不可能の場合は棄権となります。
- ・競技中の修理を素早く行うため、事前にコース脇の邪魔にならない場所へ工具を用意して下さい。保護者の方が近くで管理しても構いません。
- ・審判およびロボコンジャパンメンバーから工具の貸し出しは行いません。  
ただし、最初に貸し出している工具を持ち込むことは可能です。
- ・メンテナンス（修理）は、選手本人と保護者 1 名まで行えます。それ以外の人が、ロボットに触れることは禁止します。

**※複数の関係者がロボットに触れた場合は失格となりますので、ご注意ください。**

## 5. 禁止及び失格行為

### ●禁止行為

- ・競技中、リトライ時以外に無断でロボットに触れること。
- ・選手が故意にコース上へ進入すること、またはコース上の備品等を故意に破壊すること。
- ・競技中に選手以外の方がロボットやリモコンを持ったり、操作したりすること。
- ・ただし、リトライ宣言後のメンテナンス時に限り、保護者 1 名が手伝うことは可能。

### ●失格行為

- ・「1.ロボットについて」の規定に反する改造を行った場合。
- ・リモコンでロボットを引っ張ったり、試合中にわざと横転させるなど、競技の妨げとなる行為や悪ふざけをした場合。
- ・禁止行為を繰り返し、度重なる警告を受けた場合。

## 6.その他

- ・大会本番までに、コース・ルールを若干変更する場合もございます。

変更がある場合は、ホームページ及び LINE にてご案内いたします。ご了承下さい。

H P : <http://www.robocon-japan.com/>

- ・競技中はコースや備品に触れる機会があります。誤って破損しないよう十分注意して下さい。
- ・大会中は、参加者全員が楽しく安全に競技できるよう、ルールを守って参加下さい。